

野洲市民病院整備に関する市民懇談会③ 報告

日時：令和4年6月20日（月） 午後7時00分～8時45分

場所：コミセンぎおう

【小池】

みなさん、こんばんは。本日はお疲れのところお集まりをいただき、ありがとうございます。

定刻となりましたので、野洲市民病院整備の新たな方策についての市民懇談会を開催させていただきます。

私、政策調整部次長の小池でございます。よろしくお願いいたします。

始めにあたりましてお断りですが、本日この会議の記録のために、写真撮影と録音をさせていただいておりますので、ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは始まりに当たりまして、市長よりご挨拶申し上げます。

【市長】

皆さんこんばんは。月曜日の7時ということで、出にくい中、たくさんの方においでいただきまして、誠にありがとうございます。

改めまして野洲市長の栢木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

野洲市民病院整備の市民懇談会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。開会にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から野洲市のまちづくりの推進に格別のご高配を賜っておりますことに対しまして、心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、本日は本年1月14日に熟考を表明して以降ご心配をおかけいたしておりました野洲市民病院の、新たに見定めた整備場所とその実現に向けた推進方策等をお手元の資料に基づきご説明をさせていただきます。

その前に少しお時間をいただき、この新たな方策をお示しするまでの経過と、その都度の私の判断の内容について、述べさせていただきます。

私は、令和2年10月の市長就任において、駅前にはにぎわいを創出し税収を図る場とし、そこで新病院整備を行わないことを申し上げ、市民の皆様からのご信任をいただきました。

そして、駅前整備の代替案として掲げていた現地建て替えについて、就任後すぐに、公的な検証を行っていただきました。その結果は、建築技術的には可能ながら、医療を運営しながら施工することは困難というものでありました。

本当に皆さんにはご迷惑とご心配をおかけして、申し訳ございませんでした。改めまして、お詫び申し上げます。

やむなく断念をいたしました。そこで立ち止まることなく三つの候補地を示し、令和3年5月には、駅前 B ブロックで病院を整備することに優位性があると判断をいたしました。

このとき、私が B でと判断した最大の根拠は、駅前以外の場所で整備しようとした場合、病院事業債、いわゆる借金でございます、その一括償還や、社会資本整備総合交付金の不交付などで、財政的な負担が大きく、昨年今頃当時の市や病院の資金状況では対応できないとする試算結果を是と判断したことでした。

そして、市の関係計画等との調整に多くの時間を要し、病院の早期整備を望む市民の願いに応えられないと進言されたことや、当時の市議会の状況を見ても、B ブロックであれば、市議会に委託された駅前を望む民意にも添えると見込んだためでございます。

しかし、その後10月に状況が大きく動きました。市議会議員の改選により、議会の総意に変化が生まれ、本年1月5日には市議会の最大会派から、B ブロックにおける病院整備を速やかに断念し、新たな用地に整備すること等の要望書が提出されるに至りました。

また同じ頃、鋭意検討を進めていた駅前 B ブロックでの新病院整備の計画の草案が上がってまいりましたが、駐車場がわずか40台で、車寄せも少ない、動線も極端な縦型となってしまう。その内容を見て、これでは市民の医療を持続的に担える病院となり得ないのではないかと、憂慮するに至りました。

そして、そもそも混雑しがちで、市内各所からのお車でのアクセスが困難な駅前に、全ての市民に公平に使いやすく、あるべき市民病院を整備できるのか、また、野洲市全体のまち作りの起点というべき駅前南口に、本当に病院が最適な施設なのかと改めて思い巡らせるようになり、1月18日、別の選択肢も視野に、市長執行部として熟考すべきと判断したものでございます。

熟考当初の頃は、市民の皆様や議員のご意見その他、野洲市内の開業医の先生を含む複数の医療関係者の方からもご提案やアドバイスをいただきながら、野洲市の将来に禍根を残さない最良の選択を目指し、B ブロックも対象に検討熟慮をしておりました。

しかし、3月議会の終盤に、野洲駅前 B ブロックでの病院整備事業の早期再開についての決議案が提出され、3月25日、賛成が7人という少数で、図らずも否決されてしまうことが起きてしまいました。私はこの B が否決されたという事実を極めて重く受け止め、そして4月に入り、今日をお示しする内容で整備するよう、地域医療政策課に指示したものでございます。

今回ご提案申し上げる新病院の整備場所は、野洲市総合体育館の温水プール跡地です。

この場所は、昨年検討した三つのうちの一つの体育館裏と近接し、一部重複する場所ですが、優位点はそのままに、当初で問題とされていたいくつかの大きな課題をクリアできる場所であると考えております。

そして、何より本市のほぼ「中央」に位置し、市内各所から車でのアクセスに優れ、市街化区域に隣接した利便性の高い場所であり、新病院の優良な整備場所であると考えております。

この提案は、本市のまち作りに関わる政策の大きな変革であり、新病院整備と駅前のにぎわい作りという二つの大きな課題を、健康を基軸としながらも、事業としてはすみ分けて推進しようとするもので、市民の安心と安全を支える中核的医療の確保を確実なものとしつつ、駅前でのにぎわいと税収を生み出す可能性を広げ、希望の持てる持続可能なまちの創造を可能とするものでございます。

本日は、この新たな方策の内容をお聞きいただくことで、これまでご心配いただき、ご懸念いただいておりますことも払拭していただけたらと思っております。

長くなりましたが、本日は、本計画の実現に向け、皆様方には忌憚のないご質問やご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしく願いを申し上げます。

また、お配りの次第でございますが、今申し上げましたことはこの次第の中に記載させていただいておりますので、後ほどまたお読みいただけたらありがたいと思います。

お時間をいただいたことへの御礼と冒頭のご挨拶といたします。このあと、内容を担当からご説明申し上げますので、よろしく願いを申し上げます。

ありがとうございます。

【小池】

それでは、本日参加をしております職員の紹介をさせていただきます。

先ほどご挨拶いただいた市長の栢木でございます。

【市長】

どうぞよろしくお願いいたします。

【小池】

副市長の佐野でございます。

【副市長】

佐野でございます。よろしくお願いいたします。

【小池】

健康福祉部 政策監の布施でございます。

【布施】

布施でございます。よろしくお願いいたします。

【小池】

同じく健康福祉部次長の駒井でございます。

【駒井】

駒井でございます。よろしくお願いいたします。

【小池】

政策調整部長の赤坂でございます。

【赤坂】

赤坂でございます。よろしくお願いいたします。

【小池】

改めまして、政策調整部長の小池でございます。よろしくお願いいたします。

それでは事務局の方より、説明に移らせていただきます。

【 以下、説明部分は省略 】

【小池】

それでは質疑の時間を取らせていただきます。

本日は概ね終了時間、8時半ぐらいを目処に、進めてまいりたいと思います。多くの方々からご質問いただきまして…、ご意見いただきたいと思いますので、1人1問で、時間残りでしたら、次2回目2回目と回していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、質問の際には挙手をしてください。そうしましたら、マイクをお渡しさせていただきます。お手数ですが、お住まいの地域とお名前、ご協力をよろしくお願いいたします。

それではご意見とかご質問のある方おられます。挙手をよろしくお願いいたします。

【市民】

私、恐縮ですけど、■■■■と申します。

歳は数えでは86歳ですね。野洲で暮らして、ちょうど35年過ぎました。第二の故郷みたいなもんです。僕は、生まれは近江八幡、近江八幡の旧家で育った人間なんですね。事情があって、野洲へ暮らして、足掛け36年になりますけどね。

この野洲病院ですね。山仲さんから、ずっとこれ、何年続いてるんですか。足かけ10年以上ですよ。未だにこれ、解決しないですね。

これ市長が栢木さんですね。これはあと4年後にね、一応予定で、この場所を完成するようになってますけどね。僕はもう恐らくいないですよ、この世に。

野洲では、僕は何の尽力もしてない。尽力をしてないけど。僕の、僕は、名字は■■■■というんです。旧八幡の城下町で育った人間なんですけどね。僕の本家の叔父ちゅうのは…。恐らく年配の人は知っておられると思いますけど、■■■■ちゅう人がおられたんですよ。背の小さい人で、酒の大好きな人でね。その■■■■と、僕の本家の叔父とは、県会議員で、同期なんです。尽力をしたということですね。まあ、それは別のことですね。そういうことは個人的な話ですけどね。

とかく、この野洲病院は、この今の栢木さんの提案は、僕は賛成します。

全面的には言わないけど、賛成しますね。駅前に、ああいうところに、山仲さんが市長のときに、市民に、市民に対して詳しく説明しなかったのは、これは大きな間違いですよ。一つは。それだけです。僕は今の栢木さんのこの提案には賛成します。

それだけです。

【小池】

今のはご意見ということで、よろしいですか。はい。じゃあ、後ろの方。

【市民】

すいません。富波乙の■■■と申します。

駅前に、初め病院を建てると、本当にびっくりしまして、反対だったんですけども。その後、プール跡にできるって聞いたときは、これはいいなと思って。私もし10人友達がいたら10人とも、駅前は反対だということだったんです。

新聞にこのようなチラシがあったんですけども。政治的なことはわからないんですけどね、新誠会の会報 No. 7というのは、いつ頃出されたものですか。新誠会って誰かいらっしゃいますか。そのときにね、ものすごく反対なさってるんです、早く早くって。

どういう視点で、今の栢木さんの病院のことを反対されたのか、ちょっとわかんないんです。けど。新誠会の方、ちょっといらっしゃったら、ちょっと説明をして…。

【市民】

■■■さんがいますよ。

【市民】

ちょっと聞きたい。それとね…。

【市民】

新誠会、いますわ。

【市民】

それとね、守山医師会の方が、総合体とか横には新しい市立の野洲病院は建てられない、ってなってますけれども、これ会報作ったのが、この令和4年5月23日の日付になってるんですけどね。このときでも何か、コストとかいろんなことが書いてるんです。軟弱地盤とか書いてるんですけども。もうそういうことを調べず、こういうなことが出ること自体がちょっとわからない。

ちょっとあの、反対なさってる、今でもその新誠会の方は、このプール横に反対なさってるわけですか。その訳を、ちょっと聞きたいです。

私は今のこのプール跡は大賛成ですし、友達もみんな賛成しております。駅はもう反対です。

この新誠会の反対なさっている、ちょっと意見をちょっと聞きたいんですよ。よろしく願いいたします。いらっしゃったら…。

【小池】

すいません、お気持ちはわかりますけれども、今日ちょっとこの内容で説明をさせていただいております。もし、できましたら、この内容で説明をさせていただいたことについてのご意見とかご質問でいただければと思います。

【市民】

このプール跡は大賛成です。皆、賛成しております。

【小池】

すいません、まだまだお時間がございます。ご意見ご質問。

はい、どうぞ、後ろの方。

【市民】

中北の■■■です。

今日は丁寧に説明をしていただきまして、ありがとうございます。

でも、というか、野洲駅前にあるっていうことは、最初そう出たんだけど、それではないということ、いくつか説明をしていただいたんですけど。それは、はっきり言って最初からわかっていたのではないかな、というような内容だったかなと思います。

私言いたいのは、とですね、野洲、場所を総合体育館のところではなくて、消防署の前、社会福祉センターかな、のところでは駄目なのかなと思ってるんですね。

そこのところは検討されたのかなあと。そっちでしたら救急車はすぐに来るし、福祉センターが横にあるしというので、そちらの方がどうなのかなということで。ちょっとその辺が検討されたのかどうかってのは聞きたいです。

【駒井】

はい、ありがとうございます。駒井と申します。健康福祉センターの場所を検討されたかどうかということですが、公式な、正式な検討の俎上には載ってございません。なぜかと申し上げますと、あそこサブゾーンというふうに言われているところなんですけども、今回のような大き

な施設、あるいは駐車場を含め1万㎡以上の整備を行おうとしますと、排水の問題が非常に大きいわけでございます。そういったところから、これまでも病院に関わらずいろいろな施設の整備が検討されてきましたが、どうしてもあの場所については整備という形では難しいということになるものです。

今回につきましては、特に「早く整備する」という条件がついてございますから、既存の市有地で検討いたしました。民地の用地買収というのは、実は何年もかかる仕事になります。そうすると、皆さん病院をお待ちですし、病院もかなりひどい状態で老朽化が進んでございますので、待てないと。そういうことで、検討の俎上には今回は載せていないということで、ご了解いただきたいと思っております。

以上でございます。

【小池】

はい、ご質問ご意見はございますでしょうか？はい。

【市民】

すいません、北野の■■■■と云います。

総合体育館のところに建つていうことをするうえで、要望としまして、やはり道路がどうしても狭いので、病院が立ったとしたら、かなりの交通量になると思っておりますので、できましたら周りの整備も含めて検討いただきたいということと、あとその横に中ノ池川が通ってるんですけど、非常に整備されてない状態だというふうに認識してます。

病院ができて、環境がいいっていう状況を作っただけなのであれば、その辺も含めてですね、整備いただけたらな、というふうに思いますので、ご検討いただければと思います。

【駒井】

ありがとうございます。まず、道路の問題でございますが、確かに、交通量が増えるというふうに思います。

そのためまずは、敷地の中に車が十分対流できるスペースを設けまして、車が路上にはみ出さないようにするということが、まず絶対かなというふうに考えております。駅前だと、それもなかなか難しかったのですが、今回は敷地が相当広い場所でございますので、体育館の駐車場も含めてでございますけれど、車回しを十分取るというところで、まずは対策していきたいというふうに考えてございます。

周辺の道路に対策ということについては、どういった形でということにつきましては、今後の検討事項というか、宿題として賜りたいというふうに思います。

あと、中ノ池川につきましては、政策監の方から…。

【布施】

ありがとうございます。

一級河川 中ノ池川は、県の管理でございます。河川の整備の状況でございますけれども、一応10年計画ということで、県の方で整備が進められております。一応、洪水対策につきましては、そういう整備が一旦完了しておるといような河川でございますけれども。現在も、川の中をご覧いただきますと、樹木が茂っておったりといようなこともございます。こうした中で、浚渫を県の土木の方で進めていただいておりますし、順次そういった形で環境を整えていただいているといようなこともございます。

それもあわせて、また強く要望させていただきたいなというふうに考えております。

以上でございます。

【小池】

他、ご質問ご意見。はい。

【市民】

失礼いたします。上町の■■■■と申します。

今、市の執行部の方からですね、野洲病院のこと細かく説明があったわけでございますけれども、先ほど近江八幡市出身の■■■■さんの話も同様にですね、人生100年ですから、現在86歳というお言葉でございましたけれども、まだ14年、十分にですね、野洲病院が一日も早い開業できることを願っております。

一つですね、私は危惧しておるんですけれども、説明の中で駅前よりも多額の整備費用が必要だということで、プラスマイナス5,800万円、そういうことで出費が出るということについては、この方はですね、現在の野洲市の財政から第二の夕張にはならないということは、私個人は思っておりますけれども、何かこの頃、新聞紙で、マスコミと申しまして、野洲市のこのこと病院についてですね、負の資料が、いろんなのが出てる。良い面の野洲が、全然出てない。

ここにも触れておられませんけれども、野洲市もふるさと納税がですね、かなりの方に同意得られまして、何億という、6億円から7億円と、明るい兆し。一方、人口増は、平成の合併、中主と合併いたしまして、51,000人から、一向に上へ出ない。ということについてはですね、野洲病院の計画を、どんどんやっぱり、人口を増やすという施策の方もですね、これとあわせて、歩んでいただきたいということと。

もう一つ、一番最初の野洲病院がAブロック、前市長からあんな話がありましたけれども、そのときから見てますと、こういう形の説明のディスカッションということが、俗に言うボト・ムアップやなしにトップ・ダウンで、ややもすると市民を置き去りにして。それで、結果ですね、10何年して

も一向に杭打ちすら出来ないと。という苦い経験がありますので、この轍を踏まないような形でやっていただきたい。

いま一つ最後にですね、この資料には、議会の方で、Aブロックの方は10月の方に提案されると思いますけれども、やっぱりその方にも、今まで固執されてる人がですね、今度このプールの跡地に行って、どっちがプラスマイナスが、より数字的にですね、示していただければ。この案がですね、皆さんと共にですね、日の目を見ることは明らかだったと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

【市長】

メモするのが一生懸命で、お答えするのを忘れております。しっかりと肝に銘じて、頑張らせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【小池】

ほか、何でも結構です。ご質問ご意見ございますでしょうか？はい。

【市民】

私、 と、永原、 に住んでるものですから、まずはこの体育館の隣に病院が立つという事は、まずは大賛成でございます。

近いことももちろんありますし、それと確かに市長のおっしゃる通り、中主町と合併した結果において、ちょうどあの辺が真ん中であると、中心であるということは確かに事実です。私どもの永原地区も、実際に地図が出来まして、何軒かに配布してるはずでございますけども。

それですね、あと、ちらっとおっしゃってましたけど、今の体育館、ちょっと今カバーして、なんかやり直してるようですが、まず今の体育館の状態はどうなるんでしょうか？この写真ではですね、避難地域として活用するんだ、というお話は確かにありました。

ですけども、体育館としては、使用できないでしょうか？それで、今もちろん温水プールも、それからちょっとした市民プール、市民の風呂も、みんな山の上っていうか、クリーンセンターの方に移っておりますんで。体育館の、改たな状況が体育館でいいのか、それとも今言ったように、完全に空間は消しておいて。であるならばもったいないと思うんですね。ですから、体育館としては、改めて継続していただきたいし、そう、ぜひお願いします。

それと、今言ったように、今回詳しく説明していただきましたけど、私も胸がスーッとしました。この4～5年、病院問題で、すごくどうなってるのか、今、去年、今年でしたっけ、市議会の選挙もございました。新任の委員の方々も、多々増えたと思うんです。実際に進んでるのかどうかという事を、非常に疑問に思っただけに、こんだけ具体的に細かく病院問題が、調べ上げて、しかも

市長のおっしゃってところが新聞に出ました。中心であるから、ここに決めた。だからそれを、ぜひ市長としてですね、市議の方々に十分に通じるように説得した上で、実行していただきたいと思い、次に常に思っております。

よろしく申し上げます。

もう一度言いますが、今の体育館に設立することは大賛成です。

よろしく申し上げます。

【市長】

ありがとうございます。

体育館はですね、床を張り替えたり、いろんな整備をして、今工事に入っておりますので、体育館はリニューアルをして、より新しいというんですか。トイレも整理しますし、体育館スポーツ施設として、今後も市民の皆様にお使いいただけるようにしております。

ただ先ほど、担当が言いましたけども、あそこの災害時の大規模な避難所になっております。だから、なおいろんなトリアージとかお医者さんがするんですけども、そういうことを考えても、やはり病院が横にあるっていうのは大きな利点ではないかなというふうに、改めて感じております。

どうぞよろしく願いいたします。

【市民】

ちょっと言いませんたんですけど、もう一つ近江バスですね。今も体育館の前を通ってるわけなんですけども、だいぶこの地域で、駅前からの本数も減って、土日並びに祝日などはほとんどゼロという状態があるわけです。

ぜひ、市の方から近江バス会社さんに、再度、病院ができるにあたって、再考していただく。もちろんシャトルバスもあるとお聞きしましたけど。近江バスさんも復活していただくように、進めたいと思います。

長いことすいません。失礼します。

【市長】

近江バスさんとは、逐次、いろいろなお話をさせていただいております。減便をするというお話もありますし、補助金もある程度出して、路線確保しようと思うんですけども。いかんせん乗客が少ないですね。

だから、皆さんがこぞって乗っていただくといいんですけども、普段さほど乗客が少ない状態ですので、JRの琵琶湖線も一緒なんですけども、やはり利用がないと減便していくという状況でございますので、そこは補助金も出しながら、そしてコミュニティバスのことも考えながら、市民の皆さんの（移動手段…会議録作成者、補足）を、本当にどうしたらいいかということで、毎日担当

と協議しておりますので、ぜひともまた、この病院が中央になってきたら、先ほども言いましたけども、そこを経由するような形の路線変更っていうんですか、いうものを考えていきたいと思しますので。どうぞよろしくお願いいたします。

【市民】

よろしくお願いいたします。

【小池】

ありがとうございます。あの、お名前いただいてましたっけ。

【市長】

江部の、どちらさんでしたやろう。

【市民】

■■■■です。

【市長】

ええ、知ってます。■■■■の、どちらさんでしたでしょう。

【市民】

■■■■でございます。

【小池】

ありがとうございました。

【市民】

すいません、もう一度、ちょっと言わしてください。いやいや、すいませんねえ、勝手なこと言うて。

あのね、僕が気になるのはね、この守山市、近江八幡市。野洲市は、一步も二歩も、すべて遅れてますよ。栢木さん、市長、行政の長ですからね、頑張ってもらわないかんけどね。

総て。例えば、竜王町。竜王町は、人口は1万ちょっとですね。あこも進んでますよ。僕は近江八幡市の生まれですけどね。それをやはり参考にしないと。総て、近江八幡市、守山市は、ちっともいいと言わないですよ。言わないけど、僕ね、言いたいのは…。

この野洲市には、お寺と神社。神社は90%お参りさしてもらいました。有名な神社も無名な神社も。近江八幡市では、日牟禮八幡宮があるでしょ。あれ、1年間にどれぐらい参拝するか知ってますか。80万人、参拝するんですよ。この御上神社、兵主大社、大笹原神社。僕、大笹原神社、500回、雨が降ろうが槍が降ろうが、500回だけ、行かしてもらいました。今はもう行けないです。歳が歳やからね、そういうことですから。

近江八幡の日牟禮八幡宮は、1年間で80万に参拝するんですよ。それも総て遅れてますよ。事業…。

【市長】

■■■さん、■■■さん。頑張ります。

祇王のね、永原御殿が、国の史跡、史跡の指定を受けたんですよ。これも整理して、八幡に負けんように頑張っていくますので。一緒に頑張りましょう。

【小池】

はい、ありがとうございました。

【市民】

すいません、新上屋の■■■いいます。よろしく願いたします。

今、本当に前の山仲市長さんが進めておられたあれが、結局なかなか十年も経って、建たなかった。けど、栢木市長になって、本当にやっぱり、あかんことはあかんですぐね、臨機応変に新しい道筋を作っていただいております。特に、この高齢者、私も後期高齢者になりましたが、特にこういう本当にあの中心の、中主、また他の地域からのアクセスもいいかもです。

こないだちょっと、墓参りで福井へ行きましてね、ホテルの立体駐車場に停めましてん。ところが、僕らの歳になるとね、立体駐車場だと大変ですね。もう、もう30cmバックがなかなかできなくて。アクセルふかしたら飛び越してしまうし。それ思うたら、今回本当に場所が広いと、これ。本当に年寄りにはありがたいなと思いますのと。

私、今ちょうど、市営住宅と県営住宅、これの128軒の自治会をやってますけども。その中で、皆さんやっぱりこういう大きいのは早くね、他の方も言われたように、もう先があれだから。何とか早くね。もう今ね、こういう新しい方針を作っていただいて、早く。私もまだもうちょっと元気にいるうちにね。景色のいいところはええですよ。駅の近くで入院して、本当にやっぱり景色の良いところに、最後はね、そういうところに入れたら一番いいなと思いますので。何とかね、これをうまく進めていただきたいなと。思っております。よろしく願いたします。

【小池】

はい、他のご質問とかございましたら。

【市民】

すいません。富波乙の■■■と申します。10年間の空白っていうのは、非常に市民として、なんとも言い難いともう感じてます。賛成、今説明いただいた内容については、私個人としては賛成して
ます。

ちょっと1点だけ教えて欲しいんですけど、接道の道路、市三宅から小南、この道は、先ほどお
話されたんですけど、童子川の堤防敷を利用するっていうのができないんですかね。どうしても1
ヶ所の出入りというのは、混雑にもなりますし。そのほか、奥の方にある施設の方々にとってもです
ね、非常に使いやすい道路になるんじゃないかなあと考えてます。

【駒井】

ご意見ありがとうございます。

河川の堤です。堤防については、これを道路に占用するというのは難しい、と考えております。

ですから、今ご覧いただいている図面の通り、これも敷地の接道になりますけれども、ぎおうの
里に行くこの道がございます。病院の敷地っていうのは、ここは当然病院の病棟が建つところ、病
院の棟が建つ場所なんですけども、こちらのいびつな形をしているところ、実は病院の敷地で駐車
場がございます。こう二方向からアクセスしていただくことができます。

想定なんですけども、一番一般的なんですけども、患者の方を乗せた車の送迎で病院に入ってこられ、
ここで患者さんを降ろされて、そのまま前の駐車場が空いてたらここに停めていただいたら結構で
すし、もしいっぱいの場合は、ここから第2駐車場へ、今も看板が挙がってますが、ここから抜け
て、ぎおうの里に行く道を通って第2駐車場に止めていただくと。こういった自動車動線が当然想
定かなというふうに思っておりますので。基本的には病院ですから、2方向以上に接道していく
計画でございます。

ありがとうございます。以上でございます。

【市民】

入り口は、2箇所との説明なんですけど、所詮、一つの道路からですよ。できれば、先ほどの
説明の中で旧中主町の方が高齢の方が非常に多いというお話ありましたし。もちろんあの、どうで
すかね、北野、中北の方から、小南線を走ってこられる方もあるかと思うんですけど、ね。北比江
の方から走ってこられるっていうこともあると、当然、思うんですね。そういうときに、堤防敷が
通ってはいけないということであれば、導入路として設定してもらっているのも必要じゃないか
なと思ってます。

【駒井】

ありがとうございます。

まだ現段階では確定的なことは、当然、申し上げられないんですけども、長期的な構想として、我々があるべきかなと思ってるルートは、おっしゃったように中主方面からのアクセスを考えますと、この辺りを通して駐車場に直接入ってこれるような形。これは、一旦病院ができた後に、そういった手続き準備を進めていきたいなと思ってます。ただ建てる前だと、こういった、農地をいじめる拡張であったりとか、その辺の手続き的に難しいところがございます。新しく病院がここに出来た後に、一定の期間をかけて、アクセス道路も例えば西の方を開けるとか、ということも当然検討すべきじゃないという考えでございます。

ありがとうございます。

【小池】

はい、では次。

【市民】

すいません、失礼します。江部の■■■■、■■■■と申します。

先ほど市長、■■■■さんが発言されたんですけど、■■■■さんの家の前が■■■■です。すぐ近くです。うん。

江部が野洲の中心にということで、ありがとうございます。

5月18日ですかね、一応、市長の方からその説明があったのが。この、こちら総合体育館の前に病院をつくるというふうに表明をされたのが、5月18日だったと記憶しておりますが。その話を聞きまして、私個人的にも本当に喜んでおる次第でございます。江部の■■■■としましても、横にすぐ、この地図でも、上の斜め上の方のこの辺の住宅ですね、あの辺。そして江部全体で400世帯ほどあるんですけども、その辺、その方も皆さん喜んでいないかなと、いうふうに思っております。

しかし、必ずしもいいことばかりではない。絶対に、メリットもあればデメリットもあるというふうに思いますので、ちょっとその辺にちょっと何点か質問があったんですけども、一つだけですか。

【小池】

はい。

【市民】

まず一つ。先ほどの話の続きでもあったんですけど、それはそれとして。そしたら、6月の10日頃にですね、医師会と市長との懇談会というんですか、説明会があったというふうに聞いております。その中で、医師会長が客観的なエビデンスがなく、疑問は払拭されていないと。その説明会の内容

が、説明されていないというようなコメントをされてるということなんですけども。エビデンス、どういう意味やろなというふうに思いまして調べてみたら、根拠。ここに持ってきた根拠がないと、いうふうに言われていると私は解釈してるんですけども。今日、丁寧に説明をいただきまして、これで根拠がないのかなと、十分根拠あるやないかと、いうふうに私自身は感じております。

従いまして、これですね、これ以上遅らせることは、本当にもうそのどういうんですか、先ほどからお話ありましたが、もう10何年ですか、されてるんですけどね。これ以上遅らすことは、本当にもう、私も若いことはないですのですね。早いこと病院を建てていただいて、すぐ近くに病院があるという安心をさせていただきたいなというふうに思います。

また江部っていうところは、本当に世帯が大きいんですけども、皆さんご存知かもわかりませんが、コンビニは、コンビニがないのは皆さんご存知かと思えますけども、自動販売機もございません。あっ、ご免、2件ほどありました。まあ、そういうところなんですけどもね。

すぐ近くに、もしかしたら病院の中に、コンビニができる可能性もある。また、すぐ、駅からのシャトルバスが出て、できるというふうにも聞いておりますし。シャトルバスは無料なんじゃないかな。ちょっとそれだけ、はい、後で返事してください。そういうことで、非常に交通の利便性も良くなるかなあというふうに思うんですけども。

ちょっと1問だけ言わはったけど、ちょっと先ほどのお話に付け加えて喋らせてもらいますが。

あの、体育館というのは、行事が年間いくつかあると思うんですけども、そういった場合に観光バスとか、各地方から来られる場合があるんですけども、そういうときはどうされるのかなと、いうふうにも思っております。

そういう疑問点がいくつかあるんですけども、今回はこれぐらいにしておきます。

とにかく江部としては大賛成でございます。また私、今の[]の[]も兼ねております。[]としましてもですね、今後皆さんにご理解を求めて、[]として早期に着工、早期に完成をしていただくような方向で、要望書等をまた出せたらいいなと、いうふうに考えております。

どうぞよろしく願いいたします。

【市長】

先にですね、ご質問ではなかったんですけども。実は6月9日に守山野洲医師会の理事会の方にお邪魔をしまして、今日の説明をさせていただきました。新聞には、医師会として総意で反対というふうに新聞には書いてたんですけども。そこで私いろんな質問を受け、担当も一生懸命説明をしたことなんですけども。総じて、と言ったらちょっと言い過ぎですけども、守山の先生方は反対の先生方が多かったんですけど、野洲で開業しておられる理事の方には、あの一定の合理性があるとか、早期にもう進めてくれと、もうここまで来たんやから早く進めてくれというような、どういふんですか、応援をしていただくような、私見たら勝手な判断かもわからんすけど、エールを送っ

ていただけたような。野洲の開業医の先生方はそういうご意見でした。もう医師会の方、全部が反対してるっていうのは、ちょっと現実は違うのではないかと、申し上げさせていただいております。

【駒井】

ありがとうございます。ご質問について申し上げたいと思います。

まずコンビニでございますけども、今の野洲病院にも院内に売店がございます。おそらく新しい病院にも、何らかのチェーン店、コンビニチェーン店が、院内に入るだろうというふうに考えております。これから設計の段階でいろいろ工夫をしていきたいというふうに考えてございます。でこれちょうどご意見いただくまでにも、実は議論があったんですけども、体育館の横なんですけども、体育館にも今は自動販売機しかないんです。病院ができれば、体育館を利用されてる方も院内のコンビニを使っていたことができるようになりますと、体育館としての機能性も向上するし、良い体育施設になるだろうという考えでおります。当然、地域の方もご利用いただけると思います。ただ、24時間と言われると、これは病院の売店でございますので、そこはちょっと難しいのかなというふうに考えております。

あと、シャトルバスを利用できるかでございますけども、これについては、ちょっと検討させていただきたいと思います。北口までは片道6分ですので、1台で回すとすると1時間に大体3本ぐらい、20分に1本ぐらいは往復できるかなというふうに考えてございます。2台確保するとすれば、全くの倍にはなりませんけれども、一定の範囲で便利になっていくのではなかろうかなというふうに考えてございます。

あと、体育館のご利用で、大きな大会だったりすると、確かにバスが来る、これはその通りでございます。ご心配も、特にスポーツ関係の方からご心配いただいているんですけども、野洲の体育館、今540台の駐車場を持っています。実は、540台の駐車場を持っている体育館というのは、県内では稀でございます。近江八幡は500数台とかあるんですけども、あそこはアリーナ、野球場と一緒にスポーツ公園全体で500何台ですから、体育館だけで500台を持っている町ていうのは、本当に野洲市の体育館のくらいで、駐車場の潤沢さはズバ抜けてございます。でも、他の小さいまちの体育館でも十分、大会をやってられます。どういうふうにされてるかという、観光バスだったりすると、会場で選手の方とかを降ろして、バスは、野洲なら、例えば錦織寺の裏の市有地にバスを回して、そこでバスを待機させておくとか、希望が丘の駐車場までバスを持って行って、夕方帰る頃に迎えにやって来るとか、そういうことで工夫されている。これだけの大規模な駐車場を持つて体育館は実は稀でございますので、十分大きな大会でも工夫をすれば、大丈夫かなというふうに考えてるところでございます。

以上でございます。

【小池】

そろそろ目標としていた時間が迫っていますが、どなたか。

【市民】

北の■■■と申します。よろしくお願いします。

江部のところに病院が建つてというのは、非常に、一番今までで合理的で、いいのかなというふうには思います。それには非常に賛成なんですけども、試験的にですね、今まで病院、野洲病院ができてまして、それに対して一般会計繰出金が1億2億とかですね、毎年、野洲市の、病院会計の出されているというような状況でしたけども、今のこの新しいここの移った場合のですね、単年度黒字、まあ先ほど高島かな、黒字でっていうお話がありましたけども、そっち、今のこの計画案で単年度黒字でっていうのは、何時頃に見ておられるかっていうことを教えていただきたいということですね。

ちょっとついでにもう一つ申し上げた、先ほど交通の便で、非常に道路が、車が通ってっていうことでお話がありましたけども、今の市三宅小南線のところ、非常に、今でも非常に車が多いです。私が来たんですけども、すぐ横に川がありますけど、あそこのこの川の草刈りもですね、なかなか自治会が年1回やってますけども、危なくてやってられないということで、もう今、止めたんですね。ここ2年程、もう止めてるんですけど。それぐらい、今、非常に車が多い中に、またこれからさらによく通るということになってくると、あの辺ちょっとあの歩道を付けるとかですね、何かちょっと考えていただかないと、もう危ないかなというふうには思います。

江部の方まで、江部、もうずっと、江部の信号かな、そこまでは歩道ありますし、小南の方も歩道は来てるんですよ。中北と北の間だけがないと。以前に要望したときには、いやそこは通学路ではなさかいと、こういうお話もあったんですけど、もうほやけど現実、非常にもう車が多くて、あそこ農業者、草刈りができへんというような状況です。そういうことも踏まえて、また何かその交通対策ということ十分に考えていただきたい、というふうに思います。

よろしくお願いします。

【駒井】

ありがとうございます。

まず、病院の収支について、お伺いいただいておりますが、今回ご提案させていただいてるのは、新しい病院をこの場所に立てるという提案でございますが、冒頭申し上げました通り、病院の機能、つまり回復期機能、後方支援機能、それからあと二次救急とかですね、については変えない考え方をいたしてございます。またこれだけ道路、道路交通の便が良いところでもありますので、外来収益についても、大きく落ち込むことはないというふうに考えてございます。そういったところから、この場所での病院の収支見通しについては、今の駅前での計画でみているのと同じくらいだろうと

みえています。そのことを、7月から8月かけて専門家を入れて、計算をして成案していく段取りになっております。ですから、何年目から黒字ということについては、9月になればお示しさせていただけるというふうに考えてございます。

この場所の優位性は、皆さんからご支援いただいておりますように高いと。その優位性から考えて、収益が大きく、今の黒字見込みの数字が大きく変わるという考え方は全くしてございません。可能性が大いにあると見込む中で、今回提案をさせていただいているというようなところでございます。

なお、公立病院でございますから、当然、法定繰入というものがあります。整備費の半分、整備費に対する借金返済の半分であるとか、あるいは政策的な赤字医療ですね、政策的な医療に対する繰入であったりとか、そういった法定繰入というものは、これは市民負担で、今もそうですけども、新しい病院になっても入れていかななくてはならない、ということでございますので、ご承知いただきたいと思えます。

それと道路なんですけども、あれですね、中の池川超えて北、篠原向きの先線のことをおっしゃっていただいているのかなというふうに思うんですけども。確かに歩道等がない状況でございます。このことについては、病院整備でどうこうというよりも、野洲市全体の道路の整備の優先度を判定する中で考えていくべき課題と認識してございますけども、当然、ここに病院ができるということは、そういった優先度のところにもプラスの影響が生じてくる可能性はあるというふうに考えてございます。

以上でございます。

【小池】

それでは、目標としていた時間を、もう15分ほど経過しております。

では、以上で終えたいと思えます。

最後、すいません、副市長の方から一言、よろしく願いいたします。

【副市長】

皆さん、いろいろなご意見、ありがとうございました。

一つ、先ほどのご意見の中でですね、いや最近、明るい話題が少ないというご意見もいただきました。本来、新しい病院ができるっていうのは、新しい、すいません、明るい夢のある話題ではないかなと思いますので、これをきっちりと我々の方でも進めまして、また、その折々でご意見をいただきながら、しっかりと作ってまいりたいと思いますので、今後とも引き続きよろしくお願いをしたいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。